

藝文やまなし

題字 金井 昭堂（芸術文化協会参与）



平成20年10月号

Vol.19

CONTENTS

- ◆本年度の事業紹介……………2～4
 - 会員研修会……………2
 - 指導者派遣事業……………2～3
 - 芸術文化講習会……………4
 - 山梨芸術劇場……………4
- ◆芸術文化普及・交流促進事業……………5
- ◆部門の紹介……………6
- ◆いんふおめーしょん……………7
- ◆国民文化祭について……………7
- ◆賛助会員の紹介……………8

本年度の事業の紹介

4月の総会で承認された本年度事業は、会員の皆様の協力により、順調に進んでいます。

● 会員研修会

本年度の会員研修会は、平成20年4月26日（土）、甲斐市敷島総合文化会館大ホールにおいて、山梨県立美術館長の白石和己氏を講師にお招きして開催されました。

「技の美—人間国宝の工芸作品を見る」と題した講演では、大学時代から現在に至るまで美術に深く携わる中で得られたご自身の経験から、重要無形文化財保持者である「人間国宝」の方々の「技術と芸術」をより積極的に現代に役立てていくことの必要性が語られました。また、伝統の継承と共に、その方々の個性や独創性の伸長の必要性や、各地での伝統工芸展の開催や文化庁による普及活動・技術の記録作成、さらに、後継者養成に対しての補助金など、周囲の意識の高揚と力強いサポートが必要不可欠である、との貴重なお話を伺いました。

加えて、スライドを用いる中で、人間国宝の方々の数々の素晴らしい工芸作品についても、大変わかりやすくご紹介いただきました。

我々会員にとって、伝統や個性・独創性について考える良い機会になると共に、自分自身の内面を見つめ直すことができた非常に有意義な講演会となりました。



● 指導者派遣事業

県民の芸術文化活動を支援し、芸術文化の振興を図るため、学校等へ指導者を派遣しています。

* 茶 道 *

申請者(団体名)	希望指導者	希望指導
わかば支援学校	鶴田 宗慶	茶道体験



* 朗 読 *

申請者(団体名)	希望指導者	希望指導
宮谷小学校	坂本 英子	朗読指導・読み聞かせ

* 書 道 *

申請者(団体名)	希望指導者	希望指導
秋山中学校	大房 鉄陽	実技指導
日川小学校	秦 硯 堂	実技指導
甲東小学校	花田 龍溪	実技指導
下山小学校	大久保茜峰	実技指導
ろう学校	岡田 稲香	実技指導
かえで支援学校	岡田 稲香	指導・審査・講評
宮谷小学校	花田 龍溪	実技指導

* ハンドクラフト *

申請者(団体名)	希望指導者	希望指導
盲 学 校	今村 紀子	パンフラー

* 音 楽 *

申請者(団体名)	希望指導者	希望指導
甲府支援学校	鈴木 峰男	鑑賞＋共演
山梨南中学校	下地 啓二	奏法指導
わかば支援学校	七澤 秀人	鑑賞
明野中学校	七澤 秀人	鑑賞
鳥沢小学校	七澤 秀人	鑑賞
宮谷小学校	遠山 忍	鑑賞・講話・合唱奏

* 合 唱 *

申請者(団体名)	希望指導者	希望指導
下山中学校	高柳 勉	合唱指導
甲府南高等学校	足達 勝子	合唱指導
中富中学校	足達 勝子	合唱指導
万沢中学校	足達 勝子	合唱指導
早川中学校	高柳 勉	合唱指導
敷島北小学校	落合 節子	合唱指導
高根中学校	足達 勝子	講評

* 邦 楽 *

申請者(団体名)	希望指導者	希望指導
田富南小学校	山口 徹	鑑賞
総合展示	三曲連合会	鑑賞
甲府支援学校	雨宮 洋子	鑑賞
長坂中学校	田中かほる	演奏指導



* 洋 舞 *

申請者(団体名)	希望指導者	希望指導
甲府支援学校	平林美奈子 舞踊研究所	身体表現
わかば支援学校	平林美奈子 舞踊研究所	身体表現



* 演 劇 *

申請者(団体名)	希望指導者	希望指導
かえで支援学校	渡辺 政幸	演出の方法等
身延中学校	河野 通方	表現の仕方
早川中学校	水木 亮	演劇指導
わかば支援学校	水木 亮	表現の仕方

* 民謡民舞 *

申請者(団体名)	希望指導者	希望指導
盲学校	藤田 淳三	鑑賞
山梨南中学校	藤田 淳三	鑑賞
わかば支援学校	藤田 淳三	鑑賞
甲府支援学校	藤田 淳三	鑑賞

* 太 鼓 *

申請者(団体名)	希望指導者	希望指導
下山中学校	天野 宣	鑑賞
長坂中学校	天野 宣	演奏指導
三富小学校	天野 宣	演奏指導
初狩小学校	天野 宣	鑑賞
万沢小学校	天野 宣	鑑賞
甲府支援学校	天野 宣	鑑賞・体験
武川小学校	天野 宣	鑑賞



● 芸術文化講習会

会員のさらなる研鑽・技術向上のための講習会です。

部会	実施部門	実施日	場 所	内 容
発表	文 学	平成21年 2月11日 (水)	県立文学館研修室	講演「人はなぜ書くのか、私の場合」 講師：宗内 敦
	茶 道	6月8日 (日)	東京都内・三井記念美術館・ 畠山記念館	両美術館の見学
展示	写 真	6月1日 (日)	甲府市東公民館大ホール	レベルアップの写真講座 講師：清水 哲朗
舞台	合 唱	9月7日 (日)	甲府市東部市民センター東公 民館大ホール	合唱における発声法、呼吸法についての 講習会 講師：芦沢ひろ子
		11月1日 (土)	山梨県民文化ホールリハーサ ル室	指導者のための合唱講習会 講師：渡辺 三郎
		11月30日 (日)	山梨県民文化ホール会議室	一般・おかあさんのための発声・合唱講 習会 講師：大志万明子

● 山梨芸術劇場

舞台芸術を鑑賞する機会の少ない地域に協会傘下の団体を派遣し、生の演奏・演技に触れることで舞台芸術に対する理解を深め、裾野を広げていきます。

ジャンル	公演団体	実施月日	実施団体・校	開催内容
音 楽	甲府室内合奏団	5月31日 (土)	七保小学校	芸 術 鑑 賞 会
	桐音会	12月6日 (土)	大月西小学校	
演 劇	劇団創作座	11月14日 (金)	大和中学校	
太 鼓	天野宣と阿羅漢	6月23日 (月)	芦安小学校	
		6月8日 (日)	原小学校	
	紅富士太鼓	9月1日 (月)	ひばりが丘高等学校	
		平成21年1月15日 (木)	かえで支援学校	



芸術文化普及・交流促進事業

昨年度からスタートした「芸術文化普及・交流促進事業」は、新たな分野の交流を行うことにより、自主的活動を促進し、県内の芸術文化活動の裾野拡大や連携強化を図ることを目的としています。

今年度は、すでに「大正琴」「ジャズ」「アコースティック音楽」「ダンス」「オーケストラ・室内楽」の分野で交流会を実施しました。交流会の中では、「分野での高齢化が進んでいる」「発表の場を持ちたい」「今まで活動者どおしのつながりがなかった」等の意見が出され、交流会の後にも連絡を取り合い交流を深めることにより、ワークショップや発表会などの活動に発展しています。

アコースティック音楽の分野では、交流会をきっかけに10月5日に「アコースティック音楽祭2008」を開催することができました。心地良い風の中、大勢の参加者を得て大変素晴らしい発表と交流の場になりました。

その他にも、県内の愛好家を増やし裾野を拡大するため、交流会参加者が講師となってワークショップを企画・開催しています。現在、「ケーナ」「二胡」「オーケストラ」のワークショップを実施しております。昨年度のワークショップに続き、定員を超える応募があり、好評を得ています。

今後は「ミュージカル」などの分野の交流会も予定しております。文化団体相互の交流を深めワークショップや発表の場を積極的に設けることで、分野の振興につながるよう取り組んで参ります。



部門の紹介

邦楽部門の紹介

邦楽部門長 牧嶋 廣



邦楽というと、非常に広い意味を持っていて、洋楽に対して日本音楽のすべてを意味することもあるが、私たちの邦楽部門はその広い意味の活動をする団体ではない。

年に一回、秋に開催される県民文化祭の邦楽部門の公演会にお越しいただければ、あるいは、そのプログラムをご覧いただければ、おわかりいただけると思うが、「三曲」と「謡曲」と「長唄」の三部門だけである。しかし、

それらは江戸時代、あるいはそれ以前から広く全国で行われていた芸能であり、長い伝統を持っている。

芭蕉が俳諧について言ったことばに「不易流行」ということばがある。「不易（ふえき）」とは変わらないことであり、伝統である。「流行（りゅうこう）」とは時代の移りかわりとともに変わっていくものである。芭蕉は自分の切り開いた「蕉風」の俳諧について、「十七文字の俳句の型はもちろん、その中にうたわれる心も日本の詩歌の伝統を受け継いだものでなければならぬが、それと同時に新しい時代にふさわしい、時代の心に触れた生き生きとしたものでなければならぬ」と説いたのであるが、この教えは、私たちの邦楽の活動にもあてはまると思う。

「三曲」には三曲の、「謡曲」には謡曲の型が、きまりがあると思う。その伝統の型、きまり、基本のわざを身につけて、そこに21世紀に生きる現代人の心を盛り込んだ演奏ができれば素晴らしいと思う。それは生易しいことではないと思う。しかし、私たちは先人から受け継いだ伝統を守り、育てていかなければならない。

今、私たちが悩んでいることは、邦楽部門の活動に新しく参加してくださる方々が少なく、全員の平均年齢がどんどん高くなってしまいうことである。それは、他の部門でも変わらないところが多いらしい。あと何年か経つと、どの会もじいさん、ばあさんの老人クラブになり、やがて消えてしまうということだ。これは伝統を守るということ以上に深刻なことだ。私たちは伝統を守り、古典芸能の型を後世に伝えることと同時に、その仕事の担い手を育てなければならない。

今、学校教育の音楽の中に、邦楽が取り入れられ、若い人たちの中には「邦楽」に触れ、やろうと思う人が出てくるかもしれない。そして、また、団塊の世代と言われる人たちが大勢退職し、年金生活に入ると言われている。そうした人たちは、明るい老後を過ごすために何か「生涯学習」に取り組んでもらいたい。私たちもそうした新しい仲間づくりに取り組まなければならないと思っているが、家にこもって何もしていない人たちのために、公民館等で入門講座を開けるようにしてほしい。

平成25年の国民文化祭では、多くのパワーに満ちた県民がそれぞれの場で活躍してくださればよいと願っている。

私たちは、邦楽の仲間が増えることを願っている。全く零から出発する人でも、仕事やら子育てやらで忙しくて中断していた「琴」を、「尺八」を、「うたい」を、「長唄」をまたやろうという人でも集まって来てほしい。若い方も、熟年の方も、老人の方も、皆で伝統芸能を育て、山梨にある富士山のように、高い頂と広く広がる裾野を持つ「邦楽山梨」をつくりたいと思っているのが、芸文協（山梨県芸術文化協会）の邦楽部門だと皆で思っている。



いんぷおめーしょん 会員活動紹介

音楽部門

山梨交響楽団

■県立美術館ニューイヤーコンサート

日 時：平成21年1月18日（日）
場 所：県立美術館多目的実習室
曲 目：未定

■2009ニューイヤーコンサート

日 時：平成21年2月1日（日）
場 所：県民文化ホール大ホール
曲 目：プロコフィエフ／ピーターと狼、ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番ほか

甲府室内合奏団

■甲府室内合奏団定期演奏会

日 時：11月30日（日）13：30開場、14：00開演
場 所：県民文化ホール（小ホール）
指 揮：堀 了介
ヴァイオリン独奏：竹原奈津
チェロ独奏：堀沙也香
曲 目：ハイドン／交響曲第94番ト長調「驚愕」、ブラームス／ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲ほか
入場料：2,500円

書道部門

■第39回教育書道展

日 時：平成20年10月24日（金）～26日（日）9：00～16：00
場 所：県民会館地下展示場 入場無料

■第36回県書道会展

日 時：平成20年12月5日（金）～11日（木）9：30～17：00
場 所：山梨県立美術館県民ギャラリー 入場無料

■県書道会研修会

日 時：平成21年3月8日（日）13：00～15：00
場 所：アビオ
内 容：篆刻について

美術部門

山梨美術協会

■第36回 山梨美術協会会員展

日 時：平成21年2月7日（土）～14日（土）
※9日（月）と12日（木）は休館。7日（土）は13：00から、
最終日14日（土）は16：00まで
会 場：山梨県立美術館県民ギャラリーA・B・C
※山梨美術協会会員132名が新作を発表、その中から会長賞1名、賞候補2名を選出する。部門は油彩、水彩、版画、日本画、彫刻、工芸、の6部門

山梨墨画院

■第27回 山梨墨画院展（公募展）

日 時：平成21年1月31日（土）～2月6日（金）
※2月2日（月）休館日

場 所：県立美術館県民ギャラリー

■第8回 こどもの墨絵ワークショップ

日 時：平成21年1月31日（土）13：00～15：00
2月1日（日）10：00～12：00／13：00～15：00

場 所：山梨県立美術館

参加無料（必要な用具や材料は主催者が用意）

問い合わせ先：山梨墨画院本部 Tel 055-253-6181

■平成20年度 墨書会展覧会（公募展）

日 時：平成20年11月18日（火）～11月24日（月）

場 所：山梨県民会館地下展示場

※入場無料

吟剣詩舞部門

山梨県吟剣詩舞道総連盟

■平成20年度・第41回全国吟剣詩舞道大会へ出場

日 時：平成20年11月9日（日）9時～16時30分

会 場：日本武道館（東京都千代田区）

内 容：全国吟詠吟（50人）コンクール男女2組と企画吟剣詩舞へ総連盟吟剣詩舞道家が出場します。素晴らしい大会です。興味をお持ちの方はいらしてください。

入場料：3,500円

国民文化祭について

皆さまご承知のとおり、平成25年に山梨県において、日本最大級の文化イベントである「国民文化祭」が開催されることになりました。

山梨らしい、楽しさあふれる国民文化祭とするため、山梨県では、開催に当たっての基本的な考え方や名称、テーマ、会期、事業構想など、大会の骨格となる「基本構想」を検討する「国民文化祭基本構想検討委員会」を設置し、6月23日に第1回が開催されました。

同検討委員会は、芸術文化団体、学識経験者、本県ゆかりの芸術家・文化人などの方々から構成されており、会長には当協会の野口英一会長が選出され、今後2年間をかけて基本構想を策定し、知事に報告することが確認されました。

また、本年11月に茨城県各地で開催される「第23回国民文化祭・いばらき2008」には、当協会から民謡民舞、吟剣詩舞、音楽、吹奏楽の各部門が出演するとともに、華道、茶道、日舞の各部門が視察を行うこととなっております。

当協会では、同検討委員会への参画や、先催県への出演を促進すると共に、平成25年の本県開催に向けての機運醸成と準備に協力して参りたいと考えておりますので、会員の皆さまのご理解をよろしくお願いいたします。

さらに詳しい情報は下記のホームページをご参照ください。

◇第1回山梨県国民文化祭基本構想検討委員会について

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/shyougai/index.html>

◇国民文化祭・いばらき2008の内容について <http://www.kokubun2008.pref.ibaraki.jp/>



賛助会員の紹介

当協会の趣旨に賛同して下さりご協力をいただいています賛助会員の皆様です。 平成20年10月1日現在

(株)石川工務所

(株)印伝屋上原勇七

(有)エンドウ工務店

<http://www.ie-endo.co.jp/>

(株)岡島



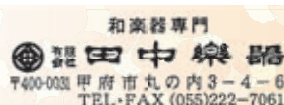
(株)吉字屋本店

JA山梨中央会

歯科若尾

神田温泉株式会社

〒406-0021 笛吹市石和町松本327
代表取締役 神宮司 昭子



東京電力(株)山梨支店

内藤楽器(株)

博友社

(医)輝 はやかわ歯科医院

(株)早野組

(有)原の家

〒401-0511 南都留郡忍野村忍草222
TEL (0555) 84-2075

(有)表現社

(有)丸一高村本店

みくに画材店

(株)明桃園

山形屋琴三絃店



(財)山梨県甲府・国中地域
地場産業振興センター

山梨県中小企業団体
中央会

(社)山梨県労働者福祉協会

山梨県吟剣詩舞道総連盟

『吟剣詩舞で心を豊かに』
お問い合わせ：055-237-5134 (事務局)

山梨交通(株)

<http://yamanashikotsu.co.jp/>

(財)やまなし産業支援機構

(株)山梨日日新聞社

(株)山梨フジカラー

<http://yamanashi-fuji.co.jp/>

(株)山梨文化会館

(株)山梨放送

<http://www.ybs.ne.jp/>

(株)山根園

(株)ヨネヤ

<http://www.yoneya.co.jp/>

連合山梨

アサヒ・ヒカル

ホームページイベント情報募集

ホームページに掲載するイベント情報を随時募集しています。

藝文やまなし表紙募集

藝文やまなしVol.20の表紙を募集しています。ふるってご応募ください。